



神奈川県子ども・若者支援連携会議

去る8月6日、平成27年度神奈川県子ども・若者支援連携会議（相模原・県央ブロック）に参加しました。この会議の目的は、困難を抱える子ども・若者やその家族に対する支援についての理解と、現状の問題点を共有することにあります。

私が参加したグループディスカッションでは、次のような課題が上がりました。

「不登校・ひきこもり者の支援を、学校・フリースクール・家庭の連携だけで終わらせず、その先の就労支援、ひいては就職活動へつなげていくことが連携における課題である。また、支援を受ける当事者について「お客様」ではなく主体的に行動し、自らの課題を克服できるような力を身につけてもらうためにはどうすればよいか、ということが個別支援の課題である。

非行については、近年その姿が変わってきており、スマートフォン・携帯電話など親の目に見えないところで行われるようになってきている。しかし、スマートフォンなどは子どもの安全を確認するセーフティ・ネットの役割も果たしており、むやみに取り上げるわけにもいかない。子どものこれからの生き方の中にインターネットをうまく取り入れていく方法について、私たち大人がお手本となり考えていかななくてはならない。」

鈴蘭学園は、今後もこのような会議に参加するだけでなく、他機関との連携による多方面からの支援を展開してまいります。（中村 鳴美）

金太郎キャンプ視察

鈴蘭学園の夏休みを利用して、神奈川県不登校対策自然体験活動事業を行っている神奈川県立足柄ふれあいの村へ視察に行きました。ここは、「きんたろうキャンプ」という企画で不登校の子どもを対象に、自然体験を通じて生き生きとした日常生活を

送るための動機づけとなる機会を提供している団体です。

足柄ふれあいの村の方とお話する中で、金太郎キャンプの参加者は、ふだんは家にこもっており、金太郎キャンプの活動以外には消極的であることと、逆に鈴蘭学園の子どもは、鈴蘭学園には来るが、それ以外の体験活動には消極的であるという状況を共有しました。

まるでパズルのピースがはまるかのようなお話で、そうとなればお互いの強みを生かして、鈴蘭の日常の活動と金太郎キャンプの自然体験を組み合わせられた活動もできるのではないかと、という結論に至りました。これが連携というもので、これからどのように発展していくか楽しみです。（中村 鳴美）

平成27年度学校基本調査

文部科学省より平成27年度学校基本調査の速報値が発表されました。小中学校あわせた不登校児童数は122,902名で、全生徒数に占める割合は1.21%という結果になっています。小中学校別にみると、小学校は25,866名、同0.39%であり、中学校（中等教育学校含む）は97,036名、同2.76%という結果です。中学校の不登校児童割合が依然として高止まりしているところに、じわじわと増加した小学校の不登校児童割合が過去最高を更新したため、全体の割合は調査が始まって以降2番目に高い数値となっています。

不登校児童割合が増加している理由には様々なことが言われていますが、はっきりとしたことはわかりません。ただ一つ言えることは、不登校児童の対応を家庭だけに任せることには限界があり、学校だけでなくフリースクールなどの支援団体が積極的に介入していくことが求められているということです。（菅原 雅史）

中村の「ちょっと宣伝した話」

●フリ・フリ・フェスタ2015

9月12日(土) 11時から15時 神奈川県立青少年センターにて開催します。
模擬店いっぱいの楽しいお祭りです!

●金平しのぶ先生による講演会

「ひきこもりの心理とは…?」をテーマに心理カウンセラーの金平先生にお話しして
いただきます。

9月26日(土) 14時から16時 相模原市立大野北公民館にて ※要予約
神奈川県立青少年センターとの協働事業です。

9月の予定

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1 開園日	2 開園日	3 開園日	4 開園日	5 相談日
6 相模原市 不登校相談会	7	8 開園日	9 開園日	10 開園日	11 開園日	12 フリ・フリ・ フェスタ
13	14	15 開園日	16 開園日	17 開園日	18 開園日	19 相談日
20	21	22	23	24 開園日	25 開園日	26 講演会 「ひきこもりの 心理とは」
27	28	29 開園日	30 開園日	1	2	3

ボランティア募集中!!

フリースペースで子供たちと遊んだり、おしゃべりしたりする内容です。

年齢・性別・経験問いません。曜日・時間は相談に応じます。

ご興味ある方はお気軽にご連絡ください。

お問い合わせは…

フリースクール鈴蘭学園 TEL: 080-6577-1545

MAIL: suzuran@fs-suzuran-gakuen.org